

## 2学期でさらなる成長へ

### <84日間の2学期が始まりました>

夏休み前には「休み中にこれをやろう、こんなことをしよう」と様々な思いがあったかと思います。

「勉強は午前10時までにやっつけてしまおう」

「普段あまり本を読めなかったので、本を2～3冊読む」

「ラジオ体操を毎日休まずに続けるぞ」

「宿題は絶対に終わらせてから遊びに行く」

「部屋の片付けをしよう」

「プールは休まず行く」

28日間の夏休みを終えて2学期が始まりましたが、休みがあつという間に終わってしまったことに子どもたちは驚いていることでしょうか。子どもたちが休み中にやろうと思っていたことはどのくらいできたでしょうか。

8月23日（木）2学期始業式で、2年生児童2名がめあて発表をし、それぞれの思いを伝えてくれました。

2年1組 Aさん：「2学期は、友だちに優しくしたいです」

2年2組 Bさん：「頑張りたいことは『そうじ』と『きなこをつくること』です」

1学期の自分の生活を振り返って、友だちとの接し方について考え、友だちを大切にしようとする気持ちを伝えてくれたAさん。無言で集中しながら掃除に取り組むこと、1学期から育てている大豆を収穫してきなこをつくるのが楽しみなこと、を伝えてくれたBさん。いずれも今後大切になることがらです。しっかりと目標をたてて、これからの学校生活を乗り切っていこうと決意を話してくれたのだと思います。聞いていてとても気持ちがよく、2学期がとても楽しみにになりました。夏休みの終わりは、同時に2学期のスタートラインに立っているわけです。決めたことをぜひ実現できるように、いつも忘れずに頭に置いて、一人一人頑張ってもらいたいと思います。

### <計画から実行へ>

やろうと決めた計画を実行に移すには、最初の3日から1週間あたりが山場になります。この時期はいったん決意してから一番くじけやすい時期にあたります。ここをうまく乗り切れればペースに乗って継続していけるものです。それほど、スタート時というのは大切です。今までの名残りや迷いが残っていると決断がにぶって目標を見失うことがあり、スタートしてからも不安定になります。8月下旬は、それぞれの学年で夏休みの思い出や印象をクラスに発表したり、休み中の作品や研究のまとめを教室や廊下に掲示したりし、今までの学習や生活に区切りをつけました。8月末は、2学期のスタートにあたりとても重要な意味をもった1週間でした。現在夏休みが終わって16日が過ぎました。2学期のスタートの波に乗れたかなと思います。



がっこうにくる日は.....

84日



## ＜自分との約束を大切に、意識を高めよう＞

この時期は「晩夏」や「初秋」と言われ、同じような時期を表しますが、この「晩夏」と「初秋」は視点が異なり、印象や意識も変わってきます。物事が終わってひと区切りがつくことは、同時に次の新しいスタートラインに立っていることになります。同じ所に立っていても、後ろを振り返るのと前を向くのとでは、見える景色が違いますね。当然気持ちのもち方も変わってきます。本校の児童は夏休みの生活に区切りをつけて、まさにここに立っているわけですね。区切りを付けて前を向いて、これからの生活を精一杯取り組みたいですね。

さて、これからの生活を精一杯取り組む上でひとつ考えたいことがあります。私たちは普段の生活の中で、次のように相手と約束を交わすことがよくあります。

「これから毎日、〇〇君とジョギングをすることにした」

「〇〇さんと□□時に待ち合わせをしている」

「明日は、〇〇ちゃんと浴衣を着てお祭りに行くことにしたんだ」

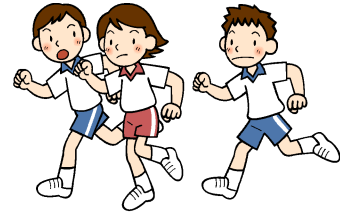
一方、次のような場合もあります。

「明日から毎朝5時に起きるぞ」

「もう絶対人の悪口は言わないぞ」

「毎日バットの素振りをする」

「これから毎日2時間ずつ勉強する」



これらは、決意や目当てとして掲げられる場合が多いようです。前者は割と守られやすいのに対し、後者はいつのまにかくじけてしまうことが多いように思います。なぜでしょうか。前者は相手との約束であるのに対し、後者は自分との約束になります。相手との約束は、破ったり忘れたりすると相手に迷惑をかける、信頼を失う、などから、いつも意識を高めていなくてはなりません。しかし後者は、破ったり忘れたりしてもあまり叱られませんが、直接大きな迷惑をかけるわけでもないと思ってしまうのでしよう。つまり、相手との約束は褒められたり叱られたりするのに対し、自分との約束は、（周りに公言しなければ）守り通しても破っても誰にも褒められないし叱られもしないことになります。褒められたり叱られたりすることが励みになり、約束を守り通すことは立派なことです。それをきっかけに成長することができるでしょう。そこで更に期待したいのは、年齢が上がるに従い、「頑張っても褒められないし、怠けても叱られない」という環境の中に身を置いて、自分の決意を継続していくことに価値を見い出せるようになることです。そうなれば、損得勘定が先立たない、本物の成長へとつながっていくことと思います。そういった環境の中でどれだけ頑張れるか、まさに自分の怠け心や弱気との戦いになるでしょう。私たちは毎日必ずしも体の調子や心の調子がいいわけではありませんから、休みたいという気持ちやくじけそうになる気持ちが芽生え、不安定になることがあります。

「今日1日くらいやらなくても、明日やるからいいや」

「1回くらいさぼっても、たいしたことないだろう」

「あとでやるから…」

「今日やろうと思ったけど、明日からやる」



厳しく指導してくれる人がいつも身近にいる場合は、不平を言いながらも続けていくことでしょう。でもその人がいなくなると、継続していく気持ちが揺らぐことがあります。人との約束、自分との約束をする時の決意は、とても意義深いことだと思います。こうしたことをやり遂げていく中で、ピンチに強い人、ここぞという時にミスをしない人、精神的に強い人に育っていくように思います。

9月の生活目標は「しゃべらずに、よごれに気づいて、おそうじをして、きれいな学校にしよう！」です。友だちや先生がいてもいなくても、余計なおしゃべりをせず汚れを落とし、ごみを片付けて学校をきれいにする15分間を、全校で作り出したいと思います。特別なことをするわけではなく、日々の生活を一つ一つやり遂げていくことの繰り返しが、後の大きな成果になっていくことでしょう。